

様式

技術名称	フラップゲート式可動防波堤	技術の分類	可動防波堤	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無
会社名等	日立造船(株)・東洋建設(株)・五洋建設(株)	担当者	仲保 京一(日立造船)	連絡先	072-243-6829
技術の概要	フラップゲート式可動防波堤は、海底に一系列に配置した扉体を、浮力を利用して旋回起立させることで連続した防波堤を形成する可動式の構造物で、その設置目的により“背後域の水位変動の抑制を目的とする津波・高潮防波堤”と“背後域の静穏度向上を目的とする波除堤”の2種類に分類されます。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料	フラップゲート式可動防波堤施設の特長と実海域試験の概要(pptスライド)	
技術の特徴	<p>本施設の特長は、その場にある自然の力、即ち津波や高潮の力を最大限に利用することで、最も安価な防御施設を追求することであり、以下に示す特長を有しています。</p> <p>①平常時は海底倒伏しているため、船舶航行・海水交換を阻害せず、周辺景観への影響が僅少。</p> <p>②自然の力を有効利用した構造・機構の採用により、安価な防御施設を実現。</p> <p>③扉体浮力等の常時監視により施設状態を見える化し、安心な防御施設を実現。</p>	その他	日立造船(株)と東洋建設(株)および五洋建設(株)は、焼津漁港(静岡県焼津市)において海底設置型フラップゲート式可動防波堤の実海域試験を行うことを計画しており、このほど、日立造船堺工場内において実海域試験装置が完成しました。		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。